

人生の節目談義

「法語カレンダー」から

本町

OY

新しい年を迎えるご気持ちが変わります。

本年はとにかくお慈悲の力はぬくぬいであるーから始まりました。これは、法語カレンダーの足利源左さんのお言葉です。このカレンダーをいばらへ眺めていましたら心が和らぎ、ほんわかとした気持ちをいただくことができました。

奥深い慈悲の二文字に、目に見えない阿弥陀様の温かさ、優しさを感じることができました。生かされ、支えられてくるこの身であるというありがたさを受け止めさせていただくことができ、感謝する一年のスタートとなりました。

この源左さんは、以前勉強会でも学んだことのある真宗門徒で、信心深い妙好人のお一人でありました。阿弥陀様を信じ、報恩感謝を忘れず、お念仏のお働きに遭われて、日常のさまざま出来事を前向きに捉えて仏道を歩まれたのでした。また多くの逸話も残されていて、私の生き方を問い直す時、大変参考になります。

一般的にカレンダーといいますが、大きな形は様々で図柄も景勝地の写真、名画など見るだけでも楽しいものがありますが、現役時代であった私にとって真新しいカレンダーは、来年の仕事始め、仕事納めは何曜日かな? 連休は何日くらいあるのかな? 「この年か?」・・・よかった残念多い、少ない長い短いといった身勝手な煩惱からの、一年間の単なる漠然とした計算と、展望をするだけのもののようにでした。

一方法語カレンダーとなりますと、毎年尊いお言葉が掲載されていますが、その頃は仏教知識の乏しさからか、なかなか馴染みにくく、つい敬遠しがちになっていました。そのため、その年にふりかえり部屋に貼るしたりするとなったりと、今思えばもったいない取り扱いをしてまいりました。

しかし、本年のカレンダーに目を通して見ますと、金子みすず、鈴木草子、浅原才市さんのお言葉は親しみやすく、今の私には心を動かされる名言が多く掲載されています。今年一年、この言葉を通して自分を深く見つめ、新たな発見なり気づきなり反省が生まれればと思っています。

その他付欄には寺行事であるお稚児さん、秋季永代経、報恩講の執行日には〇印がつけてあり、門徒への心遣いが感じられました。

五箇山の妙好人

旭町 M・M

昨年十一月、富山県の五箇山をたずね、合掌集落や伝承文化を觀賞させてもらいました。

五箇山は八百年前、平家の落ち武者が拓いたと言われる、山深い閑さされた村でしたが、東海北陸道の開通で一躍世間の関心を集めるようになりました。

インターから近い所に、かやぶきの山門をもつ行徳寺がありますが、この寺は六百年前蓮如上人の時代に五箇山が輩出した妙好人・赤尾道宗が開いた寺だと言われています。

赤尾道宗は旅の途中、蓮如上人の法話に接し、魂を入れ替えて徹底した真宗信者になりました。その後、五箇山一帯の布教に励み各所に道場をひらきました。京都へも遠距離をいとわず頻繁に上山して蓮如上人の教えをつけ、道宗の名前もいただきました。

このため五箇山は全村真宗門徒で占められており、雪に埋まる4ヶ月間、深い信仰を育んできました。是非一度、みんなで山深い五箇山を訪れて、受け継がれている純粋な信仰にふれさせてくださいよう。



行徳寺山門と本堂

本年の春も、多くの縁で結ばれますように！

開花情報はホームページで見られます

いよいよ「梅の花」の便りに心奪われ、ソワソワと思いが膨らむ季節となりました。光受寺の境内もすっかり春の様相を呈してまいりました。ただ今年は寒さが厳しかったことから、梅の開花時期は少々遅れそうでありませう。

しかし、幸いにも私たちの心は、待つことも一つの楽しみであるをよく心得ています。一輪、二輪そして満開へと待ち焦がれる思いが豊かな感性をも育み、時に歌ともなつて心に潤いを与えてくれることあるのです。多くの方々にお会いできることを楽しみに思いをたっぴり膨らませてお待ちしております。

好きな一句 K・R

死ぬときは箸置くやうに草の花 小川 軽舟

この世に生を受け滅しない物はない。仏語である

「滅諦」とは執着を断ち苦を滅する事が悟りの世界という。日常茶飯事の箸を置く様に死ぬ事が出来れば、これに勝る往生は無いだらう。万人の願いである。

揚句の上下を目にした一瞬の緊張は「箸をおくように」の語によって見事に躲された。

しかも箸を置く時の「御馳走さま」には満足感と共に有難うの思いも込められているのだ。それはそのまま、生涯のすべてに感謝して世を去る事にも通じよう。草の花も的確である。

先日、鶴匠の茶房にて一冊の俳誌の中で目にしてから、強く心に残る好きな一句である。

平成二十四年九月号

(圖発行所)

光受寺合唱団練習日は二月十六日(土) 一時半

落慶法要・親鸞聖人750回御遠忌法要日程

テーマ 「お念仏の生まれる生活を共に」 4月28日(日)

午前

八時三十分 受付

九時三十分 落慶法要

十時三十分 表彰式(カナメ)

十時四十五分 光受寺合唱団仏教賛歌

十一時

十二時 お齋とく

披露

稚児行列の準備に充てる時間です。

午後

十三時 申し経(稚児宿にて)

十三時 三輪 久 邸

十三時三十分 臼井敬二 邸

十三時三十分 稚児行列

十五時 七百五十回忌御遠忌法要

十六時 総代挨拶

一七時 後片付け

一七時半 夕食会

ご案内

観梅(枝垂れ梅)・つり雛展示(ミニギャラリー・聴風庵にて) 2月23日(土)~ 3月中旬まで

御遠忌法要の準備・当日のご協力をお願いします。

2月15日には各係、役割分担がおおよそ決定されます。結果につきましては改めてご報告いたしますが、全門徒参加を前提としておりますので、何卒よろしくご理解いただきご協力いただけますようお願いいたします。

本山関係お知らせ

教如上人400回御遠忌に参詣しませんか？(資料請求は光受寺まで)

期日 平成25年4月2日(火) 音楽法要・法話 中村 薫師
費用 お一人 7,000円 (同朋大学 講師)
日程 集合7:00~比叡山延暦寺(常行堂特別拝観)・根本中堂参詣~本山~羽島7:00
申込み 2月10日までに各寺院へ



平成二十四年春撮影